

聖ペトロ 聖パウロ使徒

2014.6.29

マタイ 16・13-19

今日 6月 29日教会は使徒ペトロとパウロの祭日を祝っています。使徒ペトロとパウロの祭日を祝う私たちは、教会の礎となったこの二人の聖人の取次ぎを願って、私たちの信仰の拠り所としての教会に心を向けたいと思います。

「あなたがたはわたしを何者だと言うのか」。このように問われて、「あなたはメシア、生ける神の子です」とペトロは答えたのでした。このようなペトロの信仰告白を受けて、「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる」とイエスは宣言されたのです。今日私たちが心を向けるべき教会とは、生ける神の子、メシアであるイエスがペトロに託された教会です。

「あなたがたはわたしを何者だと思っているか」と問われたイエスは、今日の福音を通して、「あなたがたはわたしの教会をどのように思っているか」と問いかけておられるのです。私たちは教会をどのようなものと思っているのでしょうか。「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける」。このように言われたイエスが、ペトロに託された鍵をもって開け放たれた扉を通して、私たちはイエスがわたしのと言われた教会へと招き入れられたのです。「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる」と言われた生ける神の子、メシアであるイエスがわたしの教会と言われた教会の中に招き入れられた私たちは天の国へと招かれているのです。「陰府の力もこれに対抗できない」とイエスが保証された教会に招き入れられ、その教会の中で洗礼を受けて、私たちは生ける神の子のいのちをこの身に注がれているのです。私たちがこの身にいただいている生ける神の子のいのちは陰府の力もこれに対抗できないいのちです。ペトロに向けて語られた今日の福音のみことばは、ペトロを礎として建てられた教会を通して、その教会の中に招き入れられた私たち一人一人に向けられたイエスのいのちの保証のことばでもあるのです。

ヨナの子シモン、あるいは、ヨハネの子シモンと呼ばれていたガリラヤ湖の漁師にペトロという新しい名をお与えになったのは、そのガリラヤ湖の岸辺で彼を見出されたイエスでした。こうして、ガリラヤ湖の一介の漁師であったシモンは、イエスに付き従った弟子たちの間でシモン・ペトロという名で呼ばれる中心的な存在となっていったのです。「あなたがたはわたしを何者だと言うのか」とイエスに問われた時、ペトロはそのような自負を込めて「あなたはメシア。生ける神の子です」と答えることができたのでした。

けれども、福音書を終わりまで読むなら、ペトロは決してイエスが言われたようには、イエスがご自分の教会をその上に建てようとしておられる礎となるにふさわしくはあり得なかったことがわかるはずです。イエスはそのようなペトロのありようをご存知の上で、「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる」とおっしゃって下ったのです。イエスのこのみことばは、ペトロの実際のありようにもかかわらず、イエスによって決して忘れ去られることはなかったのです。イエスの受難の時に、一度ならず三度もその人のことは知らないといエスを否んだペトロでした。

ヨハネ福音書に語られている最後のエピソードを思い起こしたいと思います。そこでは、場面は再びガリラヤの湖のほとりに戻って、ペトロとその仲間たちは一晩中漁をしたのに、何の獲物もなく、むなしく岸边に戻ってきたのでした。ペトロがはじめてイエスと出会ったその岸边に復活されたイエスは立って下さり、彼らを食事に招いてくださるのです。これが、ヨハネ福音書に語られている最後のエピソードです。食事がすむと、「ヨハネの子シモン、あなたはわたしを愛しているか」とイエスはお尋ねになります。このようにして、ガリラヤ湖の漁師であったヨハネの子シモンは自分が十字架の上に見捨てたイエスと出会い、再びペトロとなって立ち上がらせていただいたのです。「ヨハネの子シモン、あなたはわたしを愛しているか」と問われて、ペトロは悲しくなって、「主よ、あなたは何もかもご存知です。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます」と答えます。そのようなペトロにイエスは「わたしの羊を飼いなさい」と言ってくださるのです。こうして、「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる」と言われたイエスの約束は実現したのです。ガリラヤ湖のほとりでの最初の出会いの時に、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と呼びかけられたイエスとペトロを結ぶ絆は、ペトロのすべてを知っていてくださる復活のイエスによって、その根底から新たにされたのです。

「あなたがたはわたしを何者だと言うのか」と問われて、私たちも「あなたはメシア。生ける神の子です」と信仰を告白して、ペトロを礎として建てられた教会の一員となりました。ペトロの全てを知っていてくださるイエスは、そのペトロを礎としてご自分がお建てになった教会に招き入れられた私たちのなにもかもをも知っていてくださるのです。私たちもペトロとともに、「主よ、あなたは何もかもご存知です。わたしがあなたを愛していることを、あなたがよく知っておられます」と傷つき、打ちのめされた、悲しみに満ちた心の中から叫びたいと思います。私たちのなにもかもご存知のイエスが、私たちに目を留

めてくださって、イエスに付き従う者たちとしてその都度、再び立ち上がらせてくださることを祈り求めたいと思います。

今日のミサをささげて、教会の礎となった使徒ペトロとパウロの取次ぎを願って、私たちの主イエス・キリストがご自分のものとされた全教会のために祈りたいと思います。教皇フランシスコの呼びかけに応えて、私たちの教会が真に、その創始者であるイエスの御心に適う教会となってゆけるよう共に祈りたいと思います。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高